

# 「今年の新米はどうですか？」

## ～青森・秋田生産地訪問記～



収穫作業中の秋元さん

青森県では、5月中旬～6月上旬にかけて低温になったことによる影響を心配していましたが、7月後半～8月後半に天候が回復したことにより順調に生育が進んだとのことでした。収穫時期も例年より平均3～5日くらい早まっており、本会職員が調査に訪れた日には、生産者秋元さんの圃場でつがるロマンの収穫作業が行われていました。秋田県では、夏場に高温の日

### 「産地の様子」

9月17日から18日にかけて本会職員がつがるロマンの産地青森県、あきたこまち及び萌えみのりの産地秋田県を訪問し、JA関係者や生産者から生育状況、圃場や保管場所等を確認いたしました。

### 「安全・安心の取り組み」

本会が取り扱っている秋田県



刈り取り前の萌えみのり



生産者の伊藤さん

が長く続いたことによる影響を心配していましたが、ほぼ順調に生育が進んだとのことでした。あきたこまちはこれから本格的な収穫時期を迎えるとのこととで、生産者伊藤さんの圃場は9月24日が収穫予定日、晩生品種の萌えみのりは刈り取り時期が遅いため、1～2週間後に刈り取り作業を行うとのことでした。

### 「おわりに」

令和元年産米も、引き続き皆様に安心してご利用いただけるように強く感じることができた産地訪問でした。

なお、産地ではDNA検査、残留農薬検査、重金属(カドミウム)検査を、本会では新米供給前には放射性物質検査を実施しており、また、学校に納品されたお米をサンプリングしてDNA検査、残留農薬検査、重金属(カドミウム)検査、細菌検査を実施しますので、ご安心のうえご利用ください。

産地あきたこまち及び青森県産つがるロマンは、農薬削減米です。農薬削減米は、農薬の使用成分回数が増行栽培米の5割以下で生産されたお米で、農薬の種類や使用量、散布日などが厳格に管理、記録されています。

今回あきたこま치의産地で農薬を減らすための取り組みについて伺いました。生産組合の照井さんは生産者の各圃場の状況を事細かに把握しており、圃場の状態や生育状況によって農薬の散布時期、量を精査し、効果的に使用することで少ない農薬でも病虫害を防いでいるそうです。